

令和7年 年頭のご挨拶



公益社団法人浜松東法人会 会長
荒澤 光彦

新年明けましておめでとうございます。浜松東法人会の会員の皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は会員の皆様には、法人会活動に深いご理解とご協力を賜り、改めて厚くお礼申し上げます。昨年を振り返りますと、日米の総選挙が行われました。日本は、衆院選において自民党と公明党の連立が過半数割れという事で、石破首相の舵取りが今後大いに注目される事になります。アメリカでは、トランプ大統領が圧勝という事で、4年ぶりに返り咲きを決めました。

日米安保条約が今後どうなるのか、日米地位協定の見直しが進んでいくのか、何かと危惧される処であります。

日本経済においては、観光業・飲食業・イベント業・スポーツ関連もコロナ前に戻り活発になっており、特にインバウンドの訪日外国人旅行者が増えております。年間4500万人程の旅行者が来ており、インバウンドビジネスに拍車がかかっております。

静岡県内の経済を見てみますと、賃金の上昇やインバウンド客の増加など、家計消費関連で明るい話題が聞かれるようになりました。また企業活動においても生産能力の向上や、業務効率化等に向けた設備投資に前向きな企業が増

加しており、地域経済は着実に成長していると言えます。

その一方、足元では南海トラフ臨時情報が発表されたり、大きな台風が発生したり線状降水帯による県内各地で河川の氾濫や浸水被害が発生したりと、予期せぬ自然被害が社会経済の持続性に影響を及ぼし兼ねない課題となっております。誰も予想出来ない事が当たり前のようになり、不測の事態に備え、対応しながら地域社会を着実な成長軌道に乗せなければなりません。これに加え超高齢化と人口減少等の構造変化に加え、原材料価格の高騰や労働力不足など、対処すべき課題は複雑化、多様化すると共に、その解決に向けた難易度も高くなっております。

このような時代だからこそ刻々と変化する環境をしっかりと見極め、創意工夫を持って弛まぬ挑戦を続けていく事が何より重要となります。法人会の企業の皆様には、是非その気概を持って、地域経済の成長をリードして戴きたいと思っております。

結びとなりましたが、法人会一同「明るく、楽しく、役に立つ」をモットーに活動して参ります。益々のご支援、ご協力をお願いすると共に会員企業様並びに関係団体様のご発展とご隆盛を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

謹賀新年

新しい年を迎え会員の皆様のご発展をお祈り申し上げます

令和七年一月

公益社団法人 浜松東法人会

会長 荒澤 光彦

筆頭副会長 杉山 功

副会長 伊東 康彦

豊田 泰輔

町田 米男

石野 文則

内藤 明彦

大畑 雅通

